令和２年１０月１２日

松山卓球協会

関係者各位

新型コロナウイルス感染防止のための対応及び諸連絡について

　松山卓球選手権を開催するにあたり、協会として実現可能な範囲で最大限感染防止に努めて参ります。来場する選手・監督・顧問・アドバイザー・大会役員は以下のことを熟読してください。

1. 基本方針

　・大会で感染を広めない。感染が疑われる方は出場を辞退いただく。

　・万が一感染者が判明した場合でも、影響を最小限に抑え、濃厚接触者が特定可能となるようゾーニングに

　　努める。

　・大会開催にあたり下記感染防止対策を行いますが、それでも不安な方は参加をお控えください。

２．感染防止に配慮した大会運営について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 出場制限 | 次に該当する場合は大会への参加を見合わせる。  １） 体調不良の場合体調がよくない場合（37.5℃以上の発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）  ２） 家族や身近な知人にコロナウイルス感染が疑われる方がいる場合  ３） 海外や感染拡大地域等から来県・帰県し１０日経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合 |
| ２ | 大会スケジュール | 8:00入場開始、8:45開会式 |
| ３ | 入館 | ・入館者は、選手・監督(顧問)・アドバイザー・大会役員に限定する。（無観客）  　選手・監督・顧問・大会役員以外はアドバイザー証を持っている者のみ入館可能。  （入館時にチェックする）  （アドバイザーは各チーム１名でお願いします)  ・入館者は「連絡先および健康状態申告のお願い」を提出する。  　チームごとに代表者が健康状態申告書を集め、先頭で入館する。  ・チームごとに指定された入口（２か所）に分かれて入館する。  ・入館後、観客席はチーム毎に座る。  普段接触していない人との間隔は十分に確保する。（２ｍ以上空ける） |
| ４ | 練習 | ・いずれかのチームが初戦の場合、試合前に２分以内で練習を行ってもよい  ・各マッチの練習は３球分（３ミス）とする。 |
| ５ | 開会式 | ・開会式は必ず参加し、諸注意事項を十分に理解のこと。  ・第１試合のチームはフロア、それ以外のチームは観客席で参加する。 |
| ６ | 試合 | ・通常より間隔を空けて台を配置する。  ・ラケット交換は行わず、自身のラケットを相手に見せるだけにする。  ・チェンジエンドは行わない。  ・大きな声は出さない。  ・台を手で触ったり、靴の裏を触らない。  ・試合後に握手は行わない。  ・結果は勝ったチームが対戦記録表を本部席に持っていく。 |
| ７ | 消毒 | ・入口に消毒液を設置する。  ・台は団体１試合終わったら各チームで消毒液で拭く。  ・ピン球は１試合毎に本部に返却、消毒して再度配布する。 |
| ８ | 観戦 | ・席を移動してはならない。声を出しての応援は禁止とする。 |

以　上